

# 上島熱処理工業所のしょうかい

じゅうしょ：大田区仲池上2-23-13

はたらいている人の数：46人

はたらいている人の年齢（ねんれい）：22才から83才（こうじょうちょう）

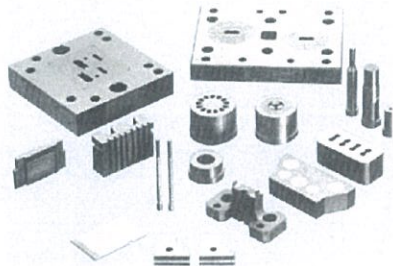
会社が始まったのは：60年前に今の社長のお父さんが始めました

どんなことをやっている会社：おもに熱処理（ねつしより）というおしごとをしています

どんな品物をしよりしているか：機械（きかい）に使われる部品（ぶひん）をけすったりするときに使われる刃物（はもの）やじどうしゃなどに使われる部品（ぶひん）をまげたりつぶしたりする金型（かながた）の部品（ぶひん）などです。これらの道具（どうぐ）をつかって部品（ぶひん）をけすったりつぶしたりするには、刃物（はもの）や金型部品（かながたぶひん）を硬（かた）くしてつよくするひつようがあります。お客（きゃく）さまから品物（しなもの）をあずかって、そのお仕事（しごと）をしています。



穴（あな）をあけるときの使うドリル



金型（かながた）につかわれる部品（ぶひん）



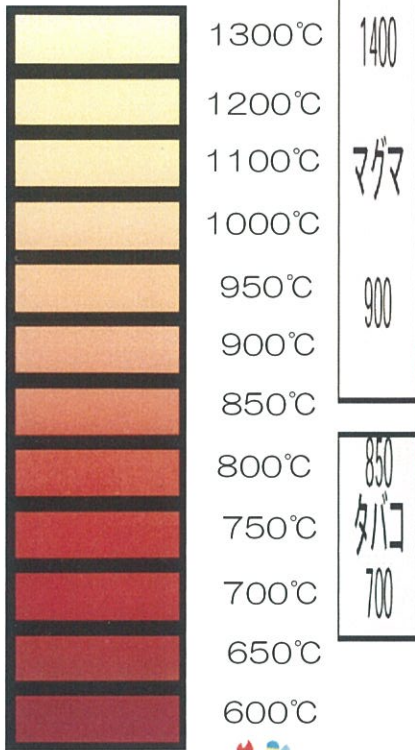
鉄（てつ）の板（いた）をおしつぶして薄（うす）くするときにつかわれるロールという部品（ぶひん）。重さが400キログラムくらいあります

どうやってつくっているのか：われわれが一番（いちばん）とくいとしているのはソルトという塩（しお）をとかした液体（えきたい）をつかって品物（しなもの）をあたためたり冷（ひ）やしたりすることです。ほかのやりかたよりはやくあたためたり冷（ひ）やしたりできるので、長持ち（ながもち）する刃物（はもの）や部品（ぶひん）をつくることができます。

仕事（しごと）をしていてどんな努力（どりょく）や工夫（くふう）をしているか：おきゃくさまからあずかっている刃物（はもの）や部品（ぶひん）はとても値段（ねだん）が高くて大切（たいせつ）なものです。しよりをするときにはおきゃくさまの会社ではたらいている社員（しゃいん）になったつもりで、同（おな）じものがまた来ても、いつも最高（さいこう）の品物（しなもの）ができるようにいっしょうけんめいおしごととしています。しょうらい若（わか）い人たちがおなじ品物（しなもの）を作（つく）りつづけられるようにベテランがいっしょうけんめいおしえています。また、まわりに住（す）んでいる人たちにめいわくがかからないように、騒音（そうおん）や排水（はいすい）・排気（はいき）といった環境（かんきょう）の面（めん）でも、しぜんを少しでもはかいしないように努力（どりょく）をしています。

どこから品物（しなもの）はくるのか：会社（かいしゃ）が始まったころは、まわりは全（すべ）て町工場（まちこうば）でしたので、品物（しなもの）のほとんどは近くの町工場（まちこうば）のものでした。そのうちに、多くの町工場（まちこうば）の人たちが工場（こうば）をやめたり、もっと土地（とち）が安くて広い地方（ちほう）へひっこしてしまい、このへんの町工場（まちこうば）はすっかりへってしまいました。工場（こうば）があった土地（とち）はマンションなどにかわってしまいました。今は地元（じもと）の仕事（しごと）はものすごくへり、日本全国（ぜんこく）どこからでも宅急便（たっきゅうびん）でかんたんに送（おく）れるようになったので、東北（とうほく）や九州（きゅうしゅう）などの遠（とお）くのちほうからも毎日（まいにち）多くの品物（しなもの）が送られてきます。

しょくにんさんは火の色をみればおんどがわかる



これ以下のおんどでは色が黒くてもあつときがあるよ



### けんがくのコース

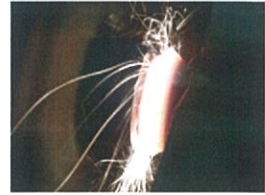
#### ①ソルト工場（こうじょう）

温（あたた）めて溶（と）かしたソルト（塩）を使（つか）って、やきいれというおしごとをしています。1200℃（ど）以上の温度になります。



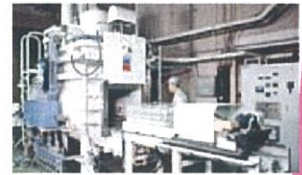
#### ②摩擦圧接（まさつあっせつ）

2このざいりょうをはやいスピードでこすりあわせ、そのねつで温（あたた）めてくっつけます。



#### ③真空炉（しんくうろ）

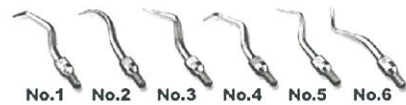
真空（しんくう）という空気（くうき）のないへやの中で品物（しなもの）を1200℃（ど）くらいまで温（あたた）めて、ちっそガスではやく冷（ひ）やしてやきいれます。



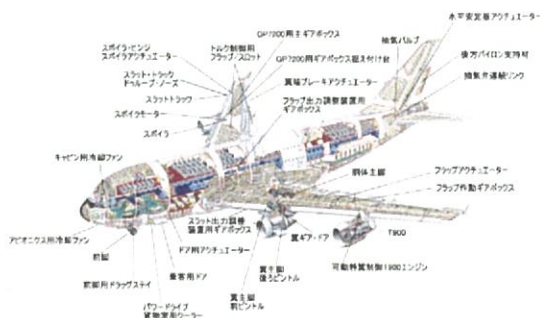
### こんなものもしりしているよ



かいてんするものを軽く回すベアリング。ひこうきにもいっぱい使われています



歯の間の歯石（しせき）を取るどうぐ



ボーイング社のひこうきに使われる部品